

【別紙様式1】 森町強靱化計画（案） 意見公募対応表

番号	意見	対応課	検討分類	回答
1-1	1 避難場所と、その整備や備蓄について（P16,P34,P36） ・津波ハザードマップでの避難所（16）の各収容人数について、感染対策を考えた時、それより少なくなると思うが、少なくなった分の収容先の検討が必要ではないか。	防災交通課	F:その他	令和2年6月に新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針を定めており、その中では可能な限りの指定避難所の開設、災害の指定の有無に限らず開設が可能である避難所を検討のうえ開放し、避難所における避難者の距離を確保する内容となっています。
1-2	1 避難場所と、その整備や備蓄について（P16,P34,P36） ・家庭への要請（最低3日、できれば1週間）の備蓄に対し、町としての備蓄の目標値の設定と達成の目度の明示が欲しい。	防災交通課	F:その他	家庭への備蓄要請の目標化は、目標値の明示、達成基準の設定及び把握が困難な内容と考えており、あくまで行政の立場として行う事としましては、備蓄の促進及び啓発する内容と考えます。水であれば1人当たり3Lと指標がありますが、食料や生活必需品については明確な指標がなく家族構成等も踏まえたうえで各家庭で判断していただく必要があることから、目標値の設定、達成基準の明示は難しいと考えます。今後も各家庭への備蓄の促進及び啓発については、広報、公式ホームページにて周知していきたいと考えています。
1-3	2 地域防災活動～自主防災組織～の推進について（P33） ・自主防災組織率が2020年12%→2025年15%となっているが、これでは遅々としており、向上策を積極的に講ずべき。町内会連合会や各町内会への個別対応が必要。	防災交通課	F:その他	自主防災組織の設立主体は主に町内会となることから、資格を取得した防災士及び町内会との協力が必要です。 今後も、町主体の防災訓練や町内会の防災訓練等を通じ、住民の防災意識の向上をはかるなかで、防災士、町内会と連携し、自主防災組織の設立を行っていききたいと考えています。
1-4	3 公共建築等の老朽化・耐震化策について（P27） ・尾白内小の耐震診断の予算が修正された経過から、尾白内小の校区の意見聴取や懇談等のとりくみが優先されるべき。	学校教育課	F:その他	学校施設は全ての施設において耐震化が求められており、耐震改修だけでなく大規模改修時にも国土強靱化計画への登載が必要となることから、耐震化が必要な全ての施設について本計画に登載しています。事業実施については地域の意見等を聞きながら検討します。

【別紙様式1】 森町強靱化計画（案） 意見公募対応表

番号	意見	対応課	検討分類	回答
1-5	3 公共建築等の老朽化・耐震化策について（P27） ・公共建築全般にわたって、複合施設化を視野に、計画的な建て替え計画が必要ではないのか。	企画振興課	D:別計画において既に記載（対応）済み（記載不要と判断）	<p>町の公共建築全般については、既に方向性を定めている「森町公共施設等総合管理計画」において、基本的な考え方として次世代に引き継げる施設については計画的な維持更新を実施し、人口や利用者状況、避難施設指定などを考慮した更新（建替え）統廃合を検討することが記載されています。</p> <p>「森町強靱化計画」本文には記載はされていませんが、町としての方向性としてご意見の内容は別計画において示されていることから記載不要と判断いたしました。</p> <p>なお、「公共建築全般を複合施設化を視野に入れ」て検討するのではなく、施設ごとの性質、利用状況や避難施設であるかなどを総合的に検討することが重要と考えています。</p>
2-1	第2章 ・森町強靱化の目標の（2）森町の強みを活かし、とありますが森町の強みとは具体的になんでしょうか？	企画振興課	F:その他	<p>森町の国土強靱化の考え方における強みとは現状以下の部分にあると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的な優位性 近年、震度6弱以上の地震発生確率や台風接近など災害リスクの発生は高くなったものの、首都直下地震や南海トラフ地震発生時の被災可能性は低いと分析されています。</li> <li>また、国道5号線や北海道縦貫自動車道など幹線道路や、森港湾を擁しており、他にもJR北海道函館本線など多数の移動経路と物流機能を有しています。</li> <li>・高い食料供給力 北海道はカロリーベースで約200%の食料自給率を誇り、日本で最大の食糧供給基地です。本町の農業では、火山灰土の利点を生かしたカボチャの生産や地熱・温泉熱を利用したトマト栽培、良品質米の奨励を行っているほか、SPF豚の普及の取り組みが行われており、豚飼育頭数は全道1位となっています。近年では海洋環境の変化などで漁獲量が落ちてきていますが、漁業においても養殖ホタテを中心にスケソウダラ、カレイ、タコなど豊富な魚種が水揚げされています。</li> <li>・エネルギー資源のポテンシャル 北海道で唯一の地熱発電所や太陽光など再生可能エネルギー賦存量において、災害時対応が可能なポテンシャルを有していると考えています。</li> </ul>

【別紙様式1】 森町強靱化計画（案） 意見公募対応表

番号	意見	対応課	検討分類	回答
2-2	<p>第5章 2-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な責任体制とはどこがどのように行って推進管理をするのか？</li> <li>・進捗状況や目標の達成状況などを継続的に検証、とあるが誰かどれくらいの期間ごとに検証していくのか？</li> </ul> <p>具体的な計画と説明がなさ過ぎると思います。</p>	企画振興課	A:強靱化計画本文記載にて対応（修正など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任体制については第5章において、該当施設を直接所管する庁内の所管部局（具体的には所管する課、局、施設等）において施策推進の工程や進捗の管理を実施することを明記しています。進捗状況や目標の達成状況についても所管部局において検証を行うこととしており、修正等の必要はないと判断しました。</li> <li>・P D C A サイクルによる着実な推進について、想定している期間は1年間ごとの実施ですので、その点を計画本文に追記します。</li> </ul>

<p>※検討分類表</p> <p>A:強靱化計画本文記載にて対応（修正など）</p> <p>B:強靱化計画では対応不可だが、事業としては対応可</p> <p>C:強靱化計画には反映しないが、更新時に検討を実施</p> <p>D:別計画において既に記載（対応）済み（記載不要と判断）</p> <p>E:強靱化計画本文に記載済み</p> <p>F:対応不可</p> <p>G:その他</p> <p>H:回答なし</p>
---